

# おくたま 町議会だより



145号

平成 20 年 5 月 5 日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

## 第1回定例町議会

### 平成20年度

#### 各会計予算を議決

第1回定例会は、3月7日から3月26日までの、会期20日間にわたり開催されました。

#### 20年度予算

平成20年度の一般会計を始めとする、各特別会計、企業会計の予算案は、3月7日の本会議初日に提案され、議長を除く議員13名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。3月17、18、21日の3日間にわたり予算特別委員会が開会され、内容説明、質疑等が行われ、26日の本会議で審議の結果、全10会計予算とも原案のとおり可決決定されました。平成20年度からは、後期高齢者医療制

度が発足するため、後期高齢者医療特別会計予算が追加されました。

#### 予算特別委員会報告

各会計とも質疑を箇条書きで掲載

#### 掲載

#### 一般会計

#### 歳入

- ・ 日本郵政公社の民営化に伴う納付金の内容
- ・ 駅中課税の内容
- ・ 固定資産税と町税滞納状況
- ・ 税金滞納者の納税困難者の実態把握
- ・ 町税の減少に係る町の考え
- ・ 地方消費税減と地方交付税増の内容
- ・ 都の総合交付金の算出基準
- ・ 町の姿勢を含めた不動産売却収入の内容説明
- ・ 下水道事業による新たな起債に対する今後の対応
- ・ 道路特定財源に係る暫定税

#### 歳出

- ・ 率の影響額
- ・ 財政健全化法の内容
- ・ 弁護士委託料の内容
- ・ 地方公営企業等金融機関出資金の内容
- ・ 海沢体験農園管理用地買収費の内容
- ・ バス路線維持対策補助金の今後の見通し
- ・ 日向人道橋実施設計委託料の内容
- ・ シルバー人材センターを活性化させるための施策と支援策
- ・ 障害者自立支援法の改正に伴う町の対応と取組み
- ・ ゴミ手数料軽減の内容
- ・ 高齢者在宅サービス運営補助事業費と社会福祉協議会補助事業費減の内容
- ・ 火葬料補助金の内容
- ・ 町のゴミ処理能力と最終処分場の残存年限
- ・ 後期高齢者医療制度事業に伴う葬祭費の内容
- ・ 福祉会館等のトイレのオス

- トメイト化に伴う他の施設への設置予定
- 健康づくり推進協議会の報酬と謝礼の内容
- 人にやさしい道づくり整備工事の内容
- 子育て支援協議会委員報酬の内容
- 社会福祉協議会の局長と在宅サービスセンターへの町職員派遣終了に伴う町の考え
- 高齢者在宅サービスセンター改修工事の内容
- 少子化対策事業の補助対象者についての説明
- 保育料助成事業の内容
- 老人クラブ運営費補助金減の内容
- 老人クラブの活動内容と決算の町に対する報告の有無
- 高齢者実態調査の調査内容
- 多子家庭助成制度の重複助成の可否
- ワサビ田災害復旧の20年度の復旧計画と今後の復旧予定
- ワサビ田災害要望書の都の受止め方
- 森林セラピーステーション
- 看板設置工事等の事業内容
- ふれあいまつり分担金減の内容と今後の取組み
- 森林保安員賃金の内容
- 森林再生事業と花粉症対策事業の場所の選定と工夫
- 山のふるさと村等への繰出金に対する町の考え
- 橋梁点検委託の内容
- 大沢、柵沢地区の町単独橋梁新設改良事業委託料と工事の内容
- 青梅・奥多摩観光PR事業補助金の内容
- 商店街看板設置補助金の看板設置場所の工夫
- 大多摩観光連盟広域観光振興支援負担金の内容
- 奥多摩総合開発に対する町の指導
- 消防ポンプ自動車の走行距離と更新年数
- 古里小学校プールの一般開放の内容と今後の対応
- 学校給食センター建設工事の内容と建設予定地、現在のセンター跡地の取扱い
- 住宅用火災警報器設置補助
- に係る消防署との連携と、対象世帯数、既設置世帯の対応
- 警報機の設置補助のPRの徹底
- 小・中学校の机の天板交換の内容と、多摩産材の単価が高いことに対する町の考え
- 旧奥平邸の集客の検討と今後の管理体制
- 町民ギャラリー管理業務委託の内容
- 槐木線林道災害復旧工事の残土捨場問題に対する町の考え
- 水と緑のふれあい館の清掃委託料の内容
- ふれあい館の10周年記念イベントの内容
- 臨床心理士賃金の内容と都の指導体制
- 給食センター職員の職員構成と業務内容
- 自動体外式除細動器の設置と収納ケース等の内容
- 自動体外式除細動器の町内の設置状況
- 学校振興事業費の報償費の内容
- 教職員の育成のための指導方針についての町の考え
- 小・中学校及び公共施設のトイレのウォッシュレット化の箇所数
- 都民の森管理運営事業特別会計
- 財務会計用端末使用料の内容
- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- 臨時職員の直接雇用の期間
- 嘱託職員委託の業務内容と人数
- 国民健康保険特別会計
- 前期高齢者交付金と後期高齢者支援金等の内容
- 前期高齢者納付金の内容
- 医療保険制度改革に伴う国保会計への影響
- 前期高齢者の負担割合凍結等の内容
- 保険料を年金から差し引くことについての説明

### 老人保健特別会計

特に質疑はありませんでした。

### 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療会計がもたらす国保会計、老人保健会計への影響額

老人ホーム入所者のうち住所地特例者の取り扱い

制度の施策の内容についての奥多摩病院としての考え

2年後の制度見直しについての町の考え

町で実施した説明会の参加人員数

説明会に出席できなかった人や保険料の内容が分からない人についての対応

保険証が各家庭に届いてからの問い合わせの内容

保険料の軽減措置と今後の取組み

保険料の算定における同居家族の所得の取り扱い

### 介護保険特別会計

特に質疑はありませんでした。

### 下水道事業特別会計

下水道中期ビジョン策定委託の内容

今後の起債の公債比率と財源内訳

都の総合交付金による事業費援助の内容と今後の見通し

### 国民健康保険病院事業会計

今後の病院運営にあたっての院長の抱負

### 病院賠償保険の内容

### 水道事業会計

特に質疑はありませんでした。

以上、10会計予算について活発、かつ積極的な質疑と、貴重な提言が行われるとともに、町理事者から詳細な説明や建設的で前向きな答弁が行われ、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 予算特別委員会委員長

鈴木賢一

## 予算に対する討論

本会議4日目の予算特別委員長報告の後、採決を前に、一般会計と後期高齢者医療特別会計について、反対・賛成それぞれの立場から討論が行われました。

### 一般会計

反対 町財政は非常に厳しい状況が続いており、国政、都政に依拠しなければ運営、経営がでない。交付税で22・3%、都支出金で38・6%、60%以上が国、都に依拠する状況である。

町政の実態を見ても、原油高による物価高、福祉、医療等の負担の連続で、住民にとってみれば苦しめられる一方である。厳しい財政の中で、少子化対策、お年寄り対策等の取り組みがあり評価するところもあるが、少子高齢化、過疎化の進行、限界の集落が発生しており、深刻な状況である。危機感を持って今後大きく取り組む必要がある

ことは明らかである。

財政面においても町税減額が続き、政府の財政再建計画による指導、圧力等が強められている今日であり、職員の削減による臨時職員の採用で、住民サービスの低下、職員の負担の増加等が心配される。住民の立場に立って、住民の目線の立場で行政を執行するよう強く要求する。

さらには福祉・保健・医療等が、政府や東京都からも削減が強まり、特にお年寄りには冷たい状況が横行している。町政の最重点課題は、何としてもこの問題に取り組むことであり、強く要求して討論とする。

賛成 本会議1日目の町長の施政方針表明に盛り込まれた、現状の認識と考え方に賛同する。また、平成19年度に引き続き20年度も事業の見直しを行い、事務事業の見直しで約5千万円、定員管理の適正化で約3千600万円、給料等の適正化で約600万円、合計で9千200万円と、前年

度に比較し3倍弱の歳出の抑制も盛り込まれている。

町長のいつも言われる「身の丈に合った健全な財政運営」を推進するため、副町長以下、各課長、職員一人ひとりが行財政改革の必要性を自分自身の肌で受け止め、日常の業務の中で実践していくことを切望し、賛成討論とする。

賛成 現在の様々な状況を考えても、前年度比1・2%増の予算を確保できたことは、町長を始め職員の努力だと評価したい。新規事業も29あり、その中で22事業は投資的事業である。

それだけの事業を予算化できたことは、職員の取り組み姿勢とやる気の評価すべきであり、また今後を期待し、本予算を大いに評価すべきと判断し、賛成の討論とする。

後期高齢者医療特別会計  
反対 後期高齢者医療制度はまさに福祉切捨て、医療切捨てと言わざるをえない制度であり、

十分に国民の理解や支持が得られぬままに制度の創設を進めてきた政府、厚生労働省は、年金問題を含めて「国民いじめ」の政治を強行している状況である。

年金から介護保険料、さらには後期高齢者医療保険料が天引きされる。所得の低い方々には一定の減免制度があるが、こういう方がたへの温かい配慮や施策等を今後十分検討する必要があると考える。東京都後期高齢者医療広域連合も含め、東京都や国政に声を上げていくことが今後必要になってくると思う。

そういう立場から、この予算に対して反対討論とするものである。

賛成 急速な少子高齢化、経済の低成長、老人医療費の大幅な増加等により、これまでの老人保健制度では国民皆保険の堅持と医療制度を、維持していくことが困難な事実に向面している。このようなことから、これまでの老人保健制度に替って、

75歳以上の方を対象とし、将来にわたり持続可能な独立の医療制度が創設されたものである。

新しい制度では、現役世代と高齢者の負担を明確にし、世代間で負担能力に応じ公正に負担することとともに、税金である公費を重点的に充てることにより、国全体で支える仕組みとなっている。また、この制度は都道府県単位での保険制度となり、今後高齢者の医療をしっかりと支えていくものと思う。

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

#### 条 例 等

子ども・子育て支援推進条例  
急激な少子化が進行し、子ども・子育てを取り巻く環境が大きく変化していることから、子ども・子育て支援及び少子化対策の基本事項を定めたものです。

も・子育て支援及び少子化対策の基本事項を定めたものです。

後期高齢者医療に関する条例  
後期高齢者医療制度が施行されることに伴い、町が行う事務に係る規程を整備したものです。

農地等災害復旧事業分担金徴収条例

台風災害によるワサビ田等の災害復旧に際して、分担金（個人負担分）の徴収について規程を整備したものです。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

事務手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

児童保育会の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例

ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

国民健康保険条例の一部を改正する条例

介護保険条例の一部を改正する条例

宅地分譲条例の一部を改正する条例

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

公共下水道事業の事務の委託に関する規約

東京都市後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約

福祉会館の指定管理者の指定について

福祉会館の管理・運営をより円滑に行なえるよう、奥多摩町社会福祉協議会を指定管理者として定めたものです。

町道の認定

奥水根線

起点 境字入水根1195 イ

終点 境字入水根1227

延長 369・92メートル

西平上線

起点 梅沢字西平160 1

終点 梅沢字西平164 6

延長 53・76メートル

工事変更契約

奥多摩処理区下水道管渠建設

工事その4

変更前の金額

2億2千279万3千200円

変更後の金額

2億5千368万3千150円

奥多摩処理区下水道管渠建設

工事その5

変更前の金額

1億3千723万2千900円

変更後の金額

1億3千379万1千円

奥多摩処理区(単独)下水道管渠建設工事その5

変更前の金額

5千56万8千円

変更後の金額

5千588万7千300円

補正予算

一般会計(第5号)

都民の森管理運営事業特別会計(第3号)

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第3号)

国民健康保険特別会計(第3号)

老人保健特別会計(第2号)

介護保険特別会計(第3号)

下水道事業特別会計(第3号)

国民健康保険病院事業会計(第2号)

水道事業会計(第2号)

人事

選挙管理委員会委員

選挙管理委員会委員及び同補充員の任期満了に伴い、選挙に

より次の方々を当選人と定めま

した。(敬称略)

選挙管理委員会委員

佐々木克彦

河村 昉可

同補充員

島崎 文雄

渡邊 幸治

師岡 好一

原島たい子

村木 順一

岡部美枝子

議員提出議案と結果

次の議案が提出され、原案のとおり可決されました。

道路特定財源に係る暫定税率維持を求める意見書

陳情の取り扱い

不採択としたもの

介護保険の改善を国に求める

陳情書

同居家族がいても生活援助サービスが受けられる厚生労働

省通達を徹底させる陳情書

# 一 般 質 問

## 道路、施設整備、観光振興等について質す！

20年3月議会では、14日の第2日に10名の議員が質問を行いました。(通告順)

前田悦男議員

テレビの地上デジタル化をスムーズに進めよ

・ ・ ・ ・ ・  
(答) 3年後に迫った地上デジタル放送への完全切り替えに際し、情報の収集や共同視聴組合への情報提供を積極的に行い、当町のデジタル化移行が円滑に実施できるよう努力する

前田 地上デジタル化の電波の受信施設を持つ各組合との調整と指導方針は。受信施設から各家庭への配信方法は。

今利用しているテレビは変換用のチューナーを取り付ければそのまま見ることができ、総務省では5千円くらいで購入できると聞くが、どの程度把握しているか。

町長 町内には21の共同視聴組合があり、受信施設は16か所である。このうち8施設はNHKの難視聴解消事業に基づく施設

設であり、地上デジタル放送を受信するために、施設を改修する工事に取り組んでいくとのことである。しかし、共同視聴組合の費用負担も発生することから、組合と合意の得られたところから順次実施していくという方針である。

単独で受信施設を設置している8組合については、独自に改修工事を行う必要があるが、その前提として、現受信地点においてデジタル波が受信可能かどうかを調べることが重要であり、平成20年度と21年度に、申し込みに基づきNHKが調査を実施することのことである。

今後とも国の政策や事業者の動向に注意し、情報を積極的に収集し、各共同視聴組合に提供していきたい。

平成22年度に、NHKが氷川地区にデジタル波中継局を設置するが、民間放送各社の設置については、その動向が現在明らかにはされていない。よって、一部地域では戸別アンテナを使用してNHKのみ視聴可能となる

が、当面は従来と同様に共同受信施設を利用し、既存のケーブルにより各家庭に配信する方法になると考えられる。

総務大臣の諮問機関である「情報通信審議会」が、平成19年8月にまとめた第四次中間答申で、5千円以下の簡易チューナーを2年以内に商品化、発売するようメーカー等に求めている。現在の価格から4分の1以下にするためには、生産販売するメーカーの努力が待たれるところである。

鈴木賢一議員

新型インフルエンザについて

・ ・ ・ ・ ・  
(答) 今後とも非常事態に備え、東京都、近隣市町村、個人、企業、団体等のご協力をいただきながら、医療体制の充実、食料の確保等を計画的に進め、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していく

鈴木 新型インフルエンザ（H5N1型）の致死率は非常に高く、このインフルエンザが発生し大流行となったとき、当町の医療体制はどのようになっているか。また、外部との往来が制限されたとき、食糧を確保する体制について問う。

町長 幸いにも、日本国内での新型インフルエンザの発症報告はない。当町では、奥多摩病院が東京都感染症外来協力医療機関として指定され、海外発生期の初期段階から情報が伝達されることで、国内発生時の発熱外来、また発熱センターの設置準備にいち早く取りかけられるものと考えている。今後とも体制に万全を期すため、東京都及び医療機関と連携を密にして取り組んでいく。

食糧については、地域防災計画に基づき、町内30か所に災害備蓄倉庫を設置し、備蓄米2万1千50食のほか、飲料水、浄水器、固形燃料等の生活関連物資を備蓄している。また、西多摩

米穀小売商組合奥多摩支部にご協力いただき、災害時等に町の要請に対し精米を供給していただくため、災害時における米穀調達に関する協定を締結している。

師岡 智議員

多摩川南岸道路建設促進に町の対応と姿勢は

（答）東京都への要望活動は毎年欠かさず行い、用地の承諾関係等にも協力し、常に都と協議し対応している

師岡 計画開始から20年以上経過しているが、一部開通のみで具体的な計画年次も明確でない。東京都に対し、どのような対応、取り組みをしているか。

町長 この事業に関しては、当町からの要望で毎年町村会より最重要課題として位置づけ、東

京都へ予算要望しているほか、西多摩建設事務所との行政連絡会でも強く要望し、都庁の関係部署へも同じく要望している。また、事業に関係する資料提供のほか、地権者との協議、承諾関係についても協力し、スムーズな事業運営ができるよう常に都と協議し対応している。

森林セラピー事業の進展と今後の活用計画について

（答）町内外の方々の健康の増進と、来遊者や宿泊者を増加させることにより、地域の振興に繋げていきたい

師岡 森林セラピー事業の現在の進行状況と、観光振興と併せて、今後この事業を通してどのように展開し、どのような期待ができるか。

町長 平成19年1月に、第3期森林セラピー基地認定申請を行い、一次審査でノミネートされ、9月と10月に生理事験を行っ

た。現在はその結果等の審査がなされており、4月初めには認定の可否について発表される予定である。これらの申請手続きと平行して、推進体制を強化するため、昨年10月に私を会長とする「推進協議会」、副町長を委員長とした「実行委員会」、さらに専門的な部分の検討を行うため、5つの専門部会を設置した。

専門部会で検討していただいた、当町の気候、風土等に合った特色あるセラピーのメニューについて、3月5日に実行委員会に提案され、3月25日には推進協議会に諮ることとなっている。

平成20年度には、四季それぞれに1回ずつモニタリングツアーを実施し、21年度のグランドオープンに備えていく予定である。また、自然、歴史、健康等の知識を兼ね備えた「奥多摩町認定セラピー」の養成講習会の実施、地元食材の利用等による基準作りを行い、「奥多摩町認定セラピーの宿」の制度も確立していく考えである。

今後期待できる点については、

この事業によって、町民皆様が誰もが健康で長生きできるまちの推進に寄与すること、都市住民の方々も当町にお越しいただき、健康維持・増進、病気予防を図っていただくこと、多彩なメニューを用意することにより、来遊者の確保と増加、滞在時間の延長による宿泊者の増加に寄与すること、があげられる。

最終的には、これらのことによつて地域の振興に繋げていきたい。また、首都東京にあり、貴重な自然を残すまちとして、ストレス解消や健康維持、増進が行える「森林健康基地奥多摩」として、首都圏の方がたに発信していきたいと考えている。

小さな善行、かかれた善行に感謝の制度を

（答）質問の趣旨は十分理解できるが、現段階では善行表彰の中で対応していきたい。貴重な提言としてとらえ、今後の参考とさせていただきます

師岡 条例に基づき、隔年で町政に尽力された方がたに対しての表彰制度があるが、表に出ないかかれた善行に対して、何らか感謝する制度をつくることはできないか。

町長 質問にもあるとおり、現在は隔年で自治の振興や公益の増進、文化の向上に功労のあった方、住民の模範となるような善行を行った方がたについて、表彰条例に基づき表彰している。きめ細かく被表彰対象者を把握したいため、各自治会を始め関係団体に依頼し、表彰者の推薦を行っていたいただき、表彰審査委員会で審査決定しているところである。この審査委員会の中でも、各地域内で住民の模範となるような活動を続けられている方がたの報告をいただくが、その都度自治会等への確認を行い、協議、決定をしているのでご理解いただきたい。

須崎 眞議員

都道202号上成木川井線拡幅整備について

（答）毎年要望を続けているが、事業化には至らない状況である。東京都西多摩建設事務所へは最重要課題として、今後も強く要望していく

須崎 大丹波地区には夏場は釣りやキャンプ、12月にはイルミネーションで、多くの観光客が訪れ交通渋滞を引き起こしている。早急に202号線の拡幅、片側歩道設置を東京都に要望していただきたい。

町長 都道202号線の拡幅については、平成15年12月に東京都に対して拡幅陳情を行っているほか、毎年東京都西多摩建設事務所との行政連絡会議にて、最重要課題として要望している状況である。都では、平成17年度から一部区間の視距改良工事の

測量を行い計画案を作成したが、全線を整備対象とする住民の要望と隔たりがあり、事業化が進んでいないのが現状である。今後東京都の方針転換も含め、車道と歩道の整備を強く要望していく。

熊沢林道の舗装整備と、対岸の都道接続について

（答）改良事業での補助事業計画化、並びに公共施設整備計画に計上し、計画的に事業化に向けて努力していく。生活道については、建設方法を研究していきたい

須崎 生活道としての舗装整備と、災害時の孤立化を防ぐためのバイパスとなるよう、都道への接続を願いたい。また、大丹波40番地付近の生活道の今後の計画は。

町長 川井グリーンビレッジから先の林道未舗装部分については、建設年次が浅く、現時点で

## 澤本 章議員

は不当沈下の問題がある。今後改良事業での補助事業計画に位置づけ、東京都へ強く要望していきたくと考えている。現在の熊沢線林道終点から都道までは、約200メートルの距離と、大丹波川を横断するために橋を架けなければならぬ。地権者のご理解とご協力をいただくとともに、多額の経費が必要になることから、公共施設整備計画に計上し、計画的に事業化に向けて努力していく。

大丹波40番地付近の生活道については、過去に都道からの計画を検討した経緯があるが、道路建設までは至らなかった状況であり、熊沢地域側からは、やはり大丹波川の横断により多額の工事費を必要とし、今後どのような方法で建設できるか研究していきたい。

## 都営水道一元化について

（答）都営水道一元化推進本部を設置し、組織の見直しも行う。現状ではマイナス面はない。都の検討会の経過を注視し、まず基本協定締結を目標としたい

澤本 一元化の準備、対応等多くの課題があると思うが、町長の考えは。町民に理解をいただくためにも、一元化によるプラス面とマイナス面を具体的に説明を。期間等を含めての今後の見通しは。

町長 東京都では本年1月、関係する知事本局、総務局、財務局、水道局の部、課長で構成する、「奥多摩町水道事業都営一元化に関する検討会」を設置し、当町の水道事業の現状を踏まえ、都営一元化に係る課題及び対応策について、検討に入ったと伺っている。

都の一連の動きを千載一遇の機会と捉え、行動に遅れをとることなく都と連携していくため、私を本部長とする「奥多摩町都営水道一元化推進本部」を設置し、積極的に推進していく。また、組織機構の見直しを行い、新たに企画財政課に「都営水道一元化推進担当主幹」を、上下水道課に「都営水道一元化推進係長」を置き、都との調整や事務を円滑に推進していく。新年度予算においても、一元化に向けた財産の管理や資料の整理等にかかる調査委託料を計上した。プラス面については、何よりも給水の安全・安定性が向上することが一番に挙げられる。現在の施設は老朽化に加え、豪雨時の断水や高濁度水の流入、原虫による水源の汚染等、多くの課題を抱えているが、施設の整備レベルが向上することにより、高水準での安全な水道水が供給されることになる。ほかに地震災害急対策や、コンビニエンスストアからの使用料の納入等、利用者にとって大きなメリット

であると考えている。更には、水道事業会計の起債の未償還残高が、平成18年度末で8億4千万円以上あり、毎年赤字が続く一般会計から繰入を行って経営しているところであり、一元化に伴い町財政の負担の軽減は大変大きなものとなる。

一方、2度に渡る料金改定により、すでに都営水道並みの使用料とさせていたいただいていることから、現在ではマイナス面はないものと考えている。

「奥多摩町水道事業都営一元化に関する検討会」における検討経過を注視し、課題の解決を踏まえ、引き続き早期実現を要望していく。実現には一定の年数を要すものと思われるが、まず水道局と「基本協定」を締結できるよう努力していく。

天体観察による「山のふるさと村」の活用について

（答）「天体観察の拠点」として施設が活性化するように、各方面と協議、検討していきたい

澤本 山のふるさと村は天体の観察場所としては格別であり、小型プラネタリウム1台と2メートル四方の望遠鏡設置台10台分程度を設置し、星に関心がある方をターゲットにしたら、愛好家を始め一般の方がたにも関心が生まれ、来場者が増えると思うが町長の考えは。

町長 山のふるさと村は周囲から光の影響をほとんど受けない立地であり、天体観察には最適である。このため、同村では平成20年度事業として、一般公募により宿泊を前提とした星空観察会を、年4回予定しているところでもある。ご提案いただいた天体観察に必要な関係施設の整備等については、同村が「天体観察の拠点」として有名になり、多くの星空ファンが集まることで活性化するよう、施設所有者の東京都環境局を始め、専門家にご意見やご指導をいただきながら検討していく。

### 5月の町長選挙について

（答）引き続き町政を担当し、奥多摩町進展のため粉骨碎身邁進する。4年間の評価を住民皆様にご判断いただきたく、審判を仰ぐ決意である

澤本 河村文夫町長は、2期目に向けて立候補すべきと思うが、町長の決意を伺う。

町長 平成16年5月に町長就任以来、「第四期奥多摩町長期総合計画」を町政運営の指針として、公明・公正な町政運営を住民皆様と協働して実施するため、率先垂範、不偏不党の精神をもって4年間全力投球してきた。引き続き町政を担当し、奥多摩町推進のため粉骨碎身邁進していきたくと考えている。私の歩んできた4年間の評価を住民皆様にご判断いただきたく、審判を仰ぐ決意である。議員皆様、住民皆様の温かいご支援をお願いしたい。

### 師岡伸公議員

奥多摩病院の午後診療と救急医療体制について

（答）相当な困難が予想されるが、医師の確保を図り実現したい。病院間の連携は今後更に強めていきたい

師岡 定住化対策のためにも午後診療の方向性について、また、救急医療体制と他市との連携について問う。

町長 現在の診療体制は、午前中を外來診療にあて、午後を入院患者の病棟診療にあてているほか、日原・峰谷診療所への出張診療、往診を計画的に予定し、かつ救急患者の受け入れを行うため、3名の医師がフル回転しているのが現状。平成15年に行ったアンケート調査でも、午後と土曜日の診療を望まれるご意見が多数寄せられたことから、平成17年度以降午後診療等の

実現に向け取り組んできたが、常勤医師の確保にはほんろつされ、未だ実現できていない。深刻な医師不足の中、確保には相当な困難が予想されるが、常勤医師の4名体制が確保された時点で病院長と協議し、利用しやすい病院を目指していきたい。

救急医療体制については、「東京都指定二次救急医療機関」と指定されており、休日も含め全夜間、基本的に24時間受付を行っている。救急車を利用せず奥多摩病院に来院し、その状態により高度医療が必要な場合は、青梅市立総合病院に相談し願います。ケースが主であるが、今後とも万全を期すため病院間の連携を強めていきたいと考えている。

観光の拠点となる「道の駅」構想について

（答）建設場所や建設費の確保等、検討すべき課題が多くあり、他県や近隣の動向を踏まえ、引き続き調査・研究していく

師岡 地場産業の活性化、観光の拠点づくりの柱として、道の駅は構想にあるか。

町長 当町における道の駅の整備等については、第四期長期総合計画において「検討する」と位置づけているが、道の駅の条件を満たす建設場所の検討を始め、建設費の確保や地域特産物の安定的な供給体制の確立、施設の採算面等、検討すべき課題が多くあり、今後も他県や近隣市町村の動向を踏まえながら、引き続き調査・研究していく。

小・中学生の「ディベート教育」について

（答）小・中学校の指導要領には含まれていないため、他の討論の指導方法により適切な指導を行っている

師岡 これからの社会を背負う子どもたちに、日本語の大切さも考えながら、教育の一環として取り上げていただきたい。

### 原島伸行議員

さらなる環境衛生の充実を

（答）資源化率の向上を図り、クリーンセンター並びに最終処分場の延命化に努め、環境衛生の充実を推進していく

原島 ごみ分別排出の減量、改善の取り組みと、廃油・生ごみ・植木等の今後の処理方法は。

町長 昨年の12月に開催した廃棄物減量等推進員会議の中で、推進員の皆様にご協力をいただき、従来可燃ごみであった紙製容器包装について、試験的に家庭内収集保管を行っていた。今後排出方法等について、廃棄物減量等審議会及び推進員会で検討をいただく予定である。

廃油の処理については、環境にやさしい石鹸の活用の推進にに取り組んでいる。町内の消費者団体がふれあいまつりで紹介する等、今後も運動が広がるよう

推進していきたい。生ごみについては、家庭用生ごみ処理容器購入費補助金交付要綱により、その費用の5割を交付した数は現在まで248基分となっている。

植木等は現在焼却処理しているが、粉碎機によりチップ化し、公園等に敷き利用する事業が近隣市町で行われている。処理量、ランニングコスト等含めて調査、研究していきたい。

観光資源の活用と充実について

（答）引き続き各種イベントを開催、参加するとともに、関係機関との情報交換と連携を強めていきたい

原島 集客力向上のため、イベントの充実やJR、バス会社等にご協力いただき目玉的な取り組みを。

町長 当町では現在、観光客等の誘致を目的として、年間11の観光イベントを実施している。他のイベントにおいても住民皆

様にも積極的にご参加をいただき、町の特産品の販売を行い地場産業の振興にも努めている。お話のあったトロッコ列車やボンネットバス等、公共交通機関の利用者促進に向け、観光客を誘致するという点で目的が同一であるので、関係機関との情報交換と連携を強めていきたい。

島崎利雄議員

山のふるさと村事件の全容説明を

（答）不起訴処分とする通知には理由は記されていない。町の責任は、裁判を通じて責任を明らかにしたい

島崎 2名の関係者が不起訴処分になった理由と、2名にしばらく理由は。不起訴処分になつて町の責任は。第三者機関の設置で、真相の解明に全力を尽くすべき。

町長 去る1月9日、東京地方検察庁八王子支部より、告訴に対し「不起訴」処分とする通知があり、その理由については通知に記載されておらず、内容を知ることができなかった。刑事告訴の対象者、告訴の内容等については、今後とも非公開にしたいと考える。

残念な結果ではあるが、司法の判断を尊重したい。今後は現在民事訴訟中の「損害賠償等請求事件」の裁判を通じ、責任の所在を明らかにしたい。

お年寄りの暮らしを守る町政に

（答）65歳以上の方のみの世帯のごみ手数料は半額とする。町営住宅家賃の一律引き下げは困難であり、個別にご相談したい。タクシートの運行は考えていない。今後の検討課題としたい

島崎 ひとり暮らしゴミ手数料は無料に。町営住宅の家賃の引き下げを。お年寄りの低料金のワゴンタクシーを。

町長 高齢者の福祉対策の一環として、65歳以上の高齢者のみの世帯について、本年4月1日から、現行の月額500円を5割減額し250円に改正する。

町営住宅の一律の家賃引き下げは困難である。しかし、年金生活者等収入の低い方々の減免については、個別にご相談等していきたいと考えている。

現時点において、タクシーを運行することは考えていないが、高齢者の皆様の外出支援に関することは、非常に重要な問題であると思っている。今後新たなシステムの構築に向け検討していく。

増田ひさ子議員

少子化対策の更なる充実を

（答）妊婦検診は14回の助成を行い、超音波検診の年齢制限は無くす。マタニティマークに関しては、今後検討、研究する

増田 妊婦検診14回までの無料化を。母子手帳と一緒にマタニティマークのホルダー等の配布と、公共施設駐車場にマタニティマークの設置を。

町長 当町では国の通知に基づき、平成20年度から最も望ましいとされている14回の妊婦検診の公費負担を行うため、都内統一の5回分を受診券として発行し、残り9回分は、1回、5千円を限度に、受診後償還払い方式で助成したいと考えている。35歳以上の方の1回分の超音波検診に係る公費負担についても、年齢制限を無くす予定である。

現在マタニティマークの配布はしていないが、厚生労働省が発表しているマタニティマーク等を参考にしながら、配布について検討していく。駐車場のマタニティマークの設置については、車椅子マークを含めて研究していきたいと思うが、マタニティマークそのものが社会的に十分理解されていない

と思われるので、住民皆様への周知についても、今後検討していかねければならないと考えている。

小林 勤議員

### 施政方針について

・・・・・・・・・・・・・・・・

(答) 第四期長期総合計画に基づき、事業を積極的に推進、また努力していく。民事訴訟中の裁判を通じ、責任の所在を明らかにしていきたい。

小林 森林セラピー事業について、観光に繋げるための観光協会との協議は。町長として、集客が期待される観光ビジョンを独自に打ち出すことは。

第四期長期総合計画の目標人口、7千500人に向かつての具体的な手段は。山のふるさと村管理運営委託費不適法流用についてイ、刑事告訴が不起訴となつたが、報告と謝罪を広報に掲

載すべき。口、不起訴となり、自治体の長として個人の立場でどのような謝罪を考えているか。八、損害賠償訴訟の結果によっては町長の責任が重大になると考えられる。責任の取り方を町民にはつきり示すべきでは。二、町の内部調査委員会は継続して調査を進めていると思うが、その経過、結果を報告せよ。

町長 「推進協議会」に観光協会長を、「実行委員会」に観光協会事務局長を、観光産業課長が部会長を務める「宿泊部会」には町内の5つの宿泊施設経営者を、「地場産食材部会」には3つの食堂経営者を、というように観光業はもちろんのこと、農林水産業や医療、福祉関係者等にも加入していただき、積極的に議論をいただいている。

町観光ビジョン策定委員会からは、この3月に「提案書」として答申をいただいた。今後は提案内容を具現化するため、所管である観光産業課に補完整備を指示した。第四期長期総合計

画に掲げた「協働のまちづくり」を基本に、森林セラピーの積極的な推進と、住民皆様が自ら策定いただいた観光ビジョンの実現に向け、更なる協働のもとに進めていく。

今後少子高齢化や核家族化が進行すると想定されるが、町の自然、観光資源や魅力を活かしながら、定住促進や観光等の地域産業の強化と、下水道整備等の生活基盤の強化等、総合的に施策を展開することにより、長期総合計画の目標年次である平成26年度に向け、努力していきたい。

イ、被告人、内容等は非公開とするが、広報おくたま4月号、及び町ホームページに記載する施政方針の中でお知らせしていく。口、不起訴処分並びに事件の全容説明がならなかったことは、町長としても大変残念な結果である。今後は現在民事訴訟中の「損害賠償等請求事件」の裁判を通じ、責任の所在を明らかにしたい。

八、事件の解明を図るのが自分の役目であり、前記の裁判を通じてその内容も明らかになるものと考えているので、判決前での答弁は控えさせていただく。

二、調査の経過や結果、今後の対応等、それぞれ広報おくたまやホームページを活用し、随時お知らせしてきた。刑事告訴に對し不起訴処分とする通知があったことは、同様に住民に周知していきたいと考えている。現在審理中の民事訴訟については、一定の段階でお知らせしていきたいと考えている。

町議会だよりの一般質問欄では、紙面の制約から、質問に対する最初の町長の答弁までを掲載しています。この後、再質問が行われ、更に踏み込んだ内容の質疑が行われています。出来上がりは後日になります。が、全部の質疑内容が掲載された会議録を図書館に置きますので、ご覧ください。

# 議会日誌

2月

- |     |                          |     |                   |     |                      |
|-----|--------------------------|-----|-------------------|-----|----------------------|
| 1日  | 青梅防犯協会新年会                | 7日  | 第1回定例会(第1日)       | 8日  | 中学校入学式               |
| 2日  | 青梅マラソン開会式                | 8日  | 木村奨学会合同会議         | 9日  | 三多摩上下水及び道路建設促進協議会監事会 |
| 5日  | 三多摩上下水及び道路建設促進協議会(第3委員会) | 11日 | 連合審査会             | 11日 | 山開き前夜祭               |
| 7日  | 観光協会観光宣伝懇談会              | 12日 | 各常任委員会            | 12日 | 山開き式                 |
| 7日  | ふれあい広場フェスティバル事業報告会       | 14日 | 第1回定例会(第2日)       | 12日 | 消防少年団入卒団式            |
| 8日  | 奥多摩町議会・檜原村議会議員研修会        | 16日 | 氷川漁業協同組合通常総会      | 15日 | 防火女性の会懇親会            |
| 12日 | 下水道事業特別委員会               | 17日 | 第1回定例会(第3日)       | 16日 | 有害鳥獣捕獲隊員安全講習会        |
| 14日 | 西多摩郡町村議会議員研修会            | 18日 | 予算特別委員会(第1日)      | 17日 | 町議会だより編集委員会          |
| 15日 | 東京都町村議会議長会定期総会           | 19日 | 中学校卒業式            | 17日 | 町議会だより編集委員会          |
| 19日 | 水道事業運営委員会                | 21日 | 予算特別委員会(第3日)      | 19日 | 山葵塾開講式               |
| 20日 | 下水道事業運営委員会               | 24日 | 氷川小学校卒業式          | 19日 | 山葵栽培組合定期総会           |
| 26日 | 小口事業資金融資制度審議会            | 25日 | 古里小学校卒業式          | 21日 | 体育協会定期総会             |
| 29日 | 秋川衛生組合議会                 | 26日 | 第1回定例会(第4日)       | 22日 | 経済厚生常任委員会現地視察        |
| 3月  |                          | 28日 | 第1回定例会(第4日)       | 23日 | 災害防止協会及び消防懇話会懇親会     |
| 2日  | 青梅交通安全協会祝賀会              | 28日 | 南岸道路説明会           | 27日 | 福生市役所庁舎完成記念式典        |
| 3日  | 議会運営委員会                  | 28日 | 社会福祉協議会評議員会       | 28日 | 西多摩郡町村議会議長会定期総会      |
| 5日  | 青梅・奥多摩高齢者のつどい            | 30日 | シルバー人材センター定期総会    | 29日 | ヘルシーウォーク             |
|     | 森林セラピー実行委員会              | 1日  | 町立小・中学校教職員等の辞令伝達式 | 30日 | 三か町村議会議員広域連絡協議会定期総会  |
|     |                          | 5日  | 体育協会総合開会式         |     |                      |
|     |                          | 6日  | おきたま海沢ふれあい農園入村式   |     |                      |
|     |                          | 7日  | 小学校入学式            |     |                      |

紙面を読みやすくするため、今号から一部文字を大きくしています。

## 編集後記



戦後初の日銀総裁空席という異常事態、ガソリン税の暫定税率の失効、道路特定財源の一般財源化、何のための聖火リレーなのか？そして後期高齢者医療制度の開始、食の安全・食品の値上げ等々、国民生活に動揺と不安が広がる中、まさに混乱、この二字に尽きる新年度です。

3月議会も終わり、町でも平成20年度がスタートしました。町長選挙は目前、給食センター建設事業も着手されます。

また、かねてより申請してまいりました「森林セラピー基地」が、都内で初めて認定されました。これまでの間、この事業に取り組みれた関係各位に、改めて感謝申し上げます。健康増進、地域振興を目指す町、基地としての一日も早いオープンを期待します。

- (原島 伸行)
- 竹内 和男 清水 典子
  - 島崎 利雄 前田 悦男